

天然染料による紫色の表現

解野研究室 A20AB041 久野葉月

1.目的

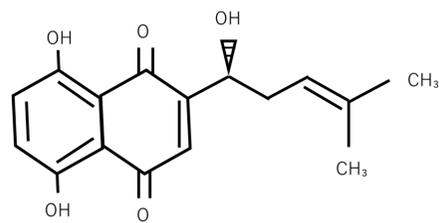
本研究では、自分の最も好きな紫色を天然染料によって得るために、天然染料を用いた染色を実際に行い、色材色彩学的に整理する。

2.実験方法

- ・布試料は、JIS L 0803に規定される試験用添付白布 多織交織布を用いた。
- ・貝紫のみ、綿、絹100%の試料を用いた。



紫根

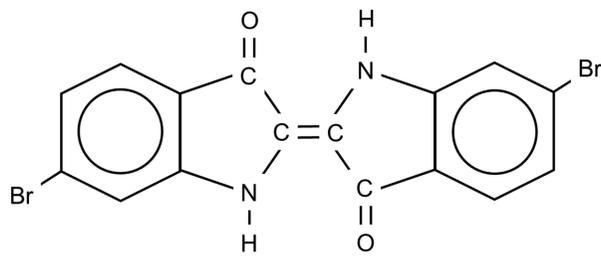


紫根 シコニン

紫根のエタノール抽出物に同量の水を加え染色液とした。
アルミニウム先媒染により染色した。



ブルームインジゴ

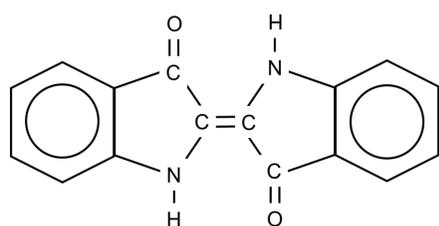


貝紫 ブロムインジゴ

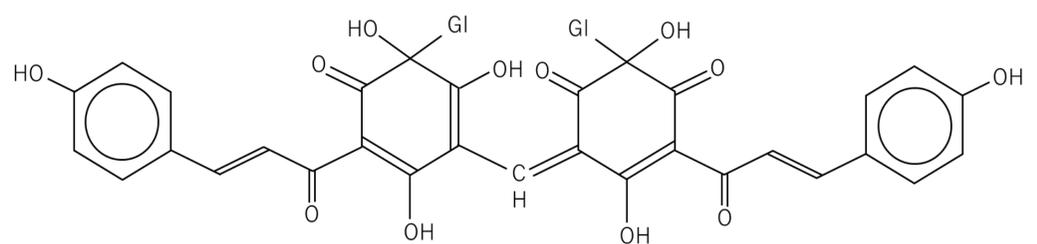
6,6'-ジブロモインジゴを4-ブロモ-2-ニトロベンズアルデヒドから合成した。
建染染法により染色した。



二藍
(インジゴ、ベニバナ)



藍 インジゴ



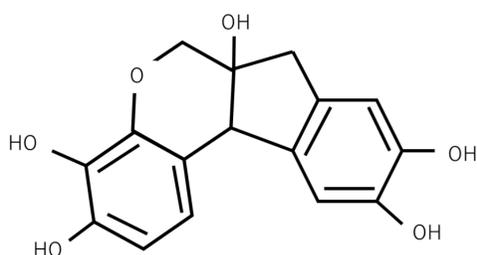
紅花 ベニバナ赤色色素

試薬を建染染法で下染めした。

ベニバナはセルロースパウダー吸着法により精製したものの再抽出し重ね染めした。



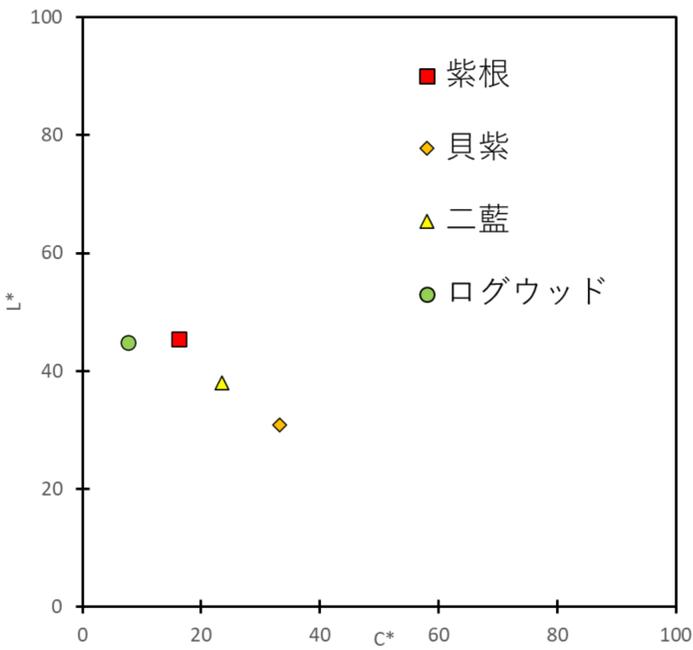
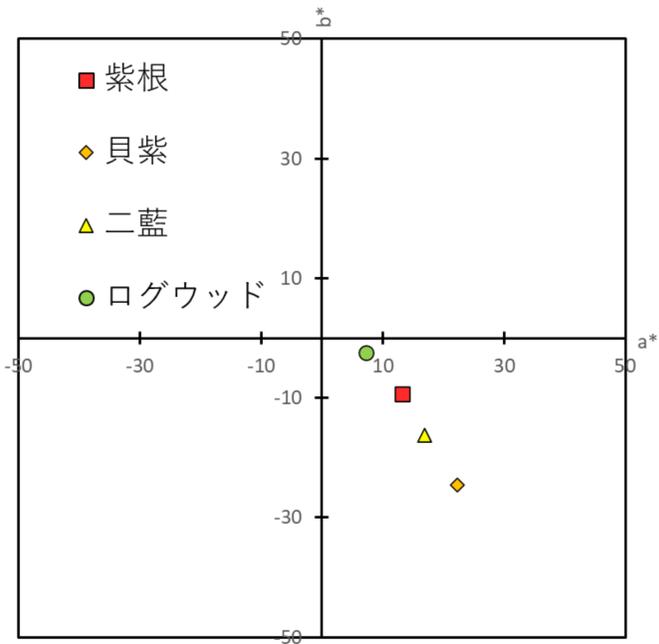
ログウッド



ログウッド ヘマトキシリン

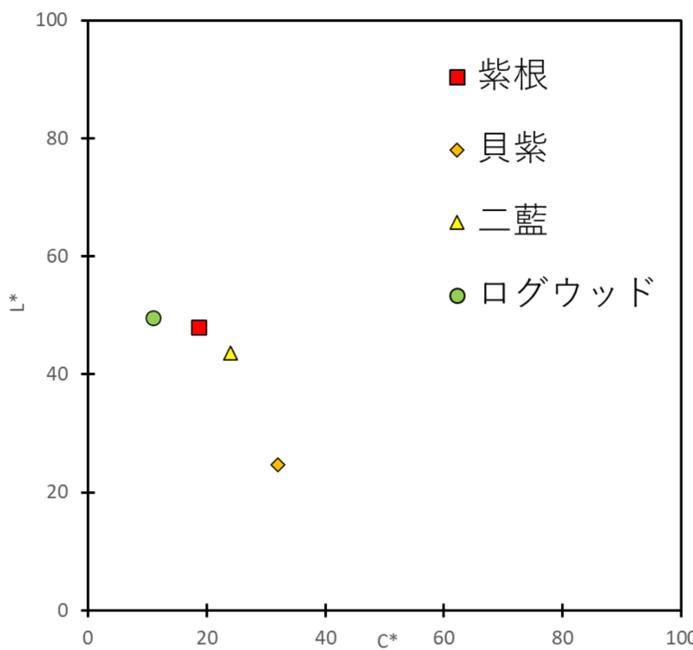
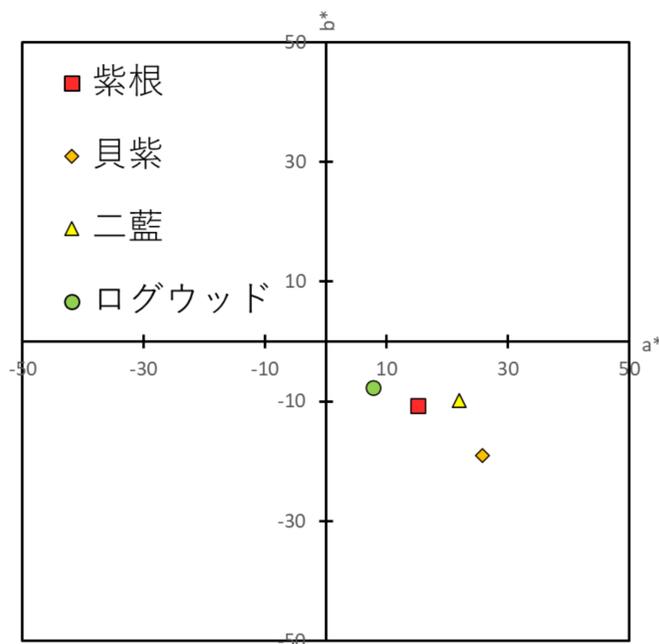
液体染料ログウッド67を用いた。
アルミニウム先媒染により染色した。

3.結果と考察



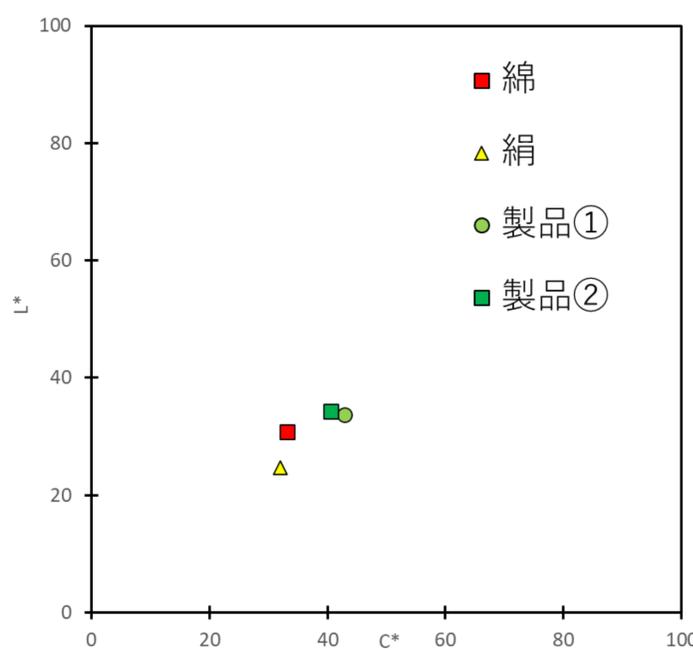
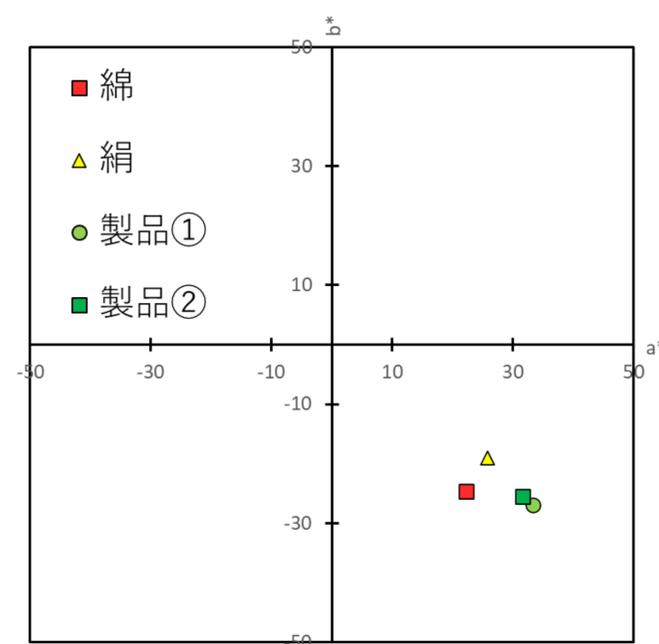
紫根	
貝紫	
二藍	
ログウッド	

綿の染色結果



紫根	
貝紫	
二藍	
ログウッド	

絹の染色結果



貝紫 綿	
貝紫 絹	
製品①	
製品②	

貝紫 (綿、絹)、製品①、②

製品①、②の所有物繊維製品の中で最も好ましいと感じているものである。

製品①、②に近い紫色に染色できたのは綿、絹ともに貝紫であった。